

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	腹腔細胞診陽性の胃がんを対象とした周術期化学療法に関する多施設共同後ろ向き観察研究
該当者	2016年1月～2022年12月の間で当院にて腹腔細胞診陽性の胃がんに対して手術または化学療法を受けられた患者さん
当院の研究責任者	外科 野村 尚
研究代表者	東京科学大学 消化管外科 徳永正則
本研究の目的	腹腔細胞診陽性の胃がん患者さんの予後は不良であり、効果的な治療方法の開発が望まれています。化学療法が重要な役割を果たしますが、最適な薬の組み合わせや手術タイミングなどはまだよくわかっていません。本研究では化学療法の治療成績を明らかにし、改善する方法を探ることを目的とします。
実施予定期間	2024年12月から2029年3月
研究の方法	診療録の情報を研究事務局である静岡がんセンターが収集し、統計解析を行います。新たな追加検査は行いません。臨床背景、胃がんの腫瘍因子、手術、化学療法、再発、生存状況などについて、化学療法の種類やタイミングを比較します。
研究に用いる試料・情報の種類	過去の診療録に保存されている臨床背景、胃がんの腫瘍因子、手術、化学療法、再発、生存状況などのデータ
外部への試料・情報の提供・公表	研究事務局である静岡がんセンターに容易に個人を特定できないように加工した診療録データを提供します
個人情報の取扱い	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。
利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。
お問合せ先	外科 野村 尚 023-685-2626